

B. 非結核性（非定型）抗酸菌によるもの

非結核性（非定型）抗酸菌症〔nontuberculous (atypical) mycobacteriosis〕とは、抗酸菌のうち、結核菌群とらい菌を除いた非結核性抗酸菌による感染症の総称である。非定型抗酸菌という名称よりも、近年は非結核性抗酸菌と呼ばれることが多い。このなかでヒトに対して病原性をもつ菌は約30種類で、ヒトからヒトへの感染はないとされている。主な非結核性抗酸菌症とその報告症例数を表26.2に示す。

1. *Mycobacterium marinum* 感染症 ★

同義語：水槽肉芽腫（fish tank granuloma）、プール肉芽腫（swimming pool granuloma）

Essence

- 水族館職員や熱帯魚を飼育する人などに好発。
- 小外傷に汚染水（プールや熱帯魚の魚槽水など）が侵入することで感染し、結節、落屑、潰瘍などをきたす。
- テトラサイクリン系の抗生物質やリファンピシンなどが有効。

症状

わが国の症例の半数は水族館職員や熱帯魚飼育者である。皮膚の小外傷に感染すると、約2週間の潜伏期を経て発症、手指の背面や関節突出部などの外傷を生じやすい部位に好発する。皮疹は中央部に膿疱や痂皮を伴う発赤、結節性局面であるが、次第に落屑を伴うようになり、陳旧性になると疣贅状局面を形成する。皮疹は単発の場合が多いが、リンパ流に沿って上行性に生じる場合や免疫抑制状態患者で全身播種される場合もある。

病因

皮膚に病変をきたす非結核性抗酸菌のうち、その半数以上を *M. marinum* が占める。*M. marinum* は淡塩水を好むため、プールや熱帯魚の魚槽水などを介して感染する例が大多数となる。

病理所見

化膿性炎症と類上皮細胞性肉芽腫との混在した所見を得る。抗酸菌の検出は病理組織からは困難である。

診断・鑑別診断

職業などが魚に関係している場合は本症を疑う。膿汁、生検

表 26.2 本邦の皮膚非結核性抗酸菌症(1969～96年)

原因菌	報告症例数	(%)
<i>M. marinum</i>	161	(64.1)
<i>M. fortuitum</i>	26	(10.4)
<i>M. avium-intracellulare</i> complex (<i>M. avium</i> 確定例 6, <i>M. intracellulare</i> 確定例 2 を含む)	19	(7.6)
<i>M. chelonae</i>	18	(7.2)
<i>M. abscessus</i>	11	(4.4)
<i>M. kansasii</i>	9	(3.6)
<i>M. gordonae</i>	2	(0.8)
<i>M. peregrinum</i>	1	(0.4)
<i>M. scrofulaceum</i>	1	(0.4)
<i>M. smegmatis</i>	1	(0.4)
<i>M. ulcerans</i> -like organism	1	(0.4)
<i>M. vaccae</i>	1	(0.4)
計	251	

注：疑い例（菌種未同定など）がこのほかに28例ある。（中嶋 弘監修。皮膚抗酸菌症—その臨床と本邦報告例。メジカルセンス；1998から引用）

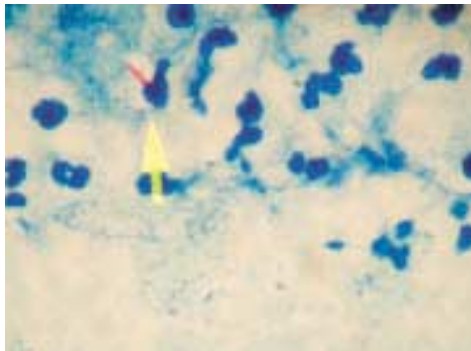


図 26.3 *Mycobacterium fortuitum* 感染症
20 歳代女性。腹部に広範囲な皮膚の波動を伴う結節と膿瘍を認める。穿刺により大量の排膿をみる。

組織，魚槽水を培養することで菌を検出することができる。鑑別診断には，スポロトリコーシスなどの皮膚真菌症，各種皮膚結核，異物肉芽腫などがある。

治療

テトラサイクリン系抗生物質やリファンピシンなどが有効，2～3か月の治療で治癒する。本菌は発育可能温度域が25～33℃であるため，使い捨てカイロなどによる局所温熱療法も有効である。

2. *Mycobacterium avium* 感染症 ★

四肢や殿部の外力の加わる部位に結節や膿瘍，潰瘍，皮下硬結をみる。24時間風呂や温泉で感染することが多い。確実な効果をもたらす化学療法は確立しておらず，抗結核薬とマクロライド系やニューキノロン系の薬剤を併用することが多い。限局した皮膚症状であれば外科的切除も有効である。

3. *Mycobacterium fortuitum* 感染症と *Mycobacterium chelonae* 感染症

皮疹は冷膿瘍や瘻孔，潰瘍，結節としてみられる（図 26.3）。治療には抗結核薬は無効であることが多く，切開，排膿，切除が望ましい。

4. *Mycobacterium kansasii* 感染症

皮疹は疣贅状局面，結節，潰瘍など。治療には抗結核薬，ニューキノロン系，マクロライド系などが有効である。

C. らい菌によるもの

Hansen 病 leprosy ★★

Essence

- らい菌による慢性感染症で，主に皮膚と末梢神経を侵す。
- 菌に対する細胞性免疫の強弱によって，T型（類結核型），L型（らい腫型）などに分類。前者は軽症で，紅斑や丘疹が少数出現し，知覚低下なども軽度であるが，後者は重症で，全身で菌が増殖して「らい腫」を形成する。